

# 飛び跳ねる石狩のサケ

今年は石狩さけまつりが50回目を迎えるということで、石狩に関わりのある印刷物でサケが描かれているものを集めてみました。

するとその多くに水面に跳ね上がるサケが描かれていることに気がつきます。石狩で躍動するサケの画像が好まれるのは宣伝の意味ももちろんですが、なにより石狩がサケの産地であり、生き生きとしたサケを目にする機会が多かったからでしょう。

実のところサケは静物画として描かれることが多く、生きて躍動するサケが描かれることはごく少ないのです。それは多くの人が目にするのは生きたサケではなく、保存加工された食品としてのサケだからです。しかし、英語のサーモン(salmon)は、ラテン語で「跳躍」を意味するサリレ(salire)が語源だと言われています。

サケは世界の海を回遊し、産卵地に向かうため懸命に川をさかのぼる力強い魚です。石狩のポスターなどにサケ本来の生命力にあふれる姿が好まれる背景には、石狩とサケの特別な関わりを読み取ることができるといえます。

(工藤義衛)



1



2



3



4



5



6



7

- 1 昭和初期の丸井今井のポスター(了恵寺所蔵)
- 2 吉田初三郎作「石狩町鳥瞰図」の表紙
- 3 昭和20年代の広告
- 7 昭和37年第7回さけまつりの広告(北海タイムス掲載)



工藤 義衛 Tomoe Kudo

専門分野は考古学と風俗史。石狩独特の文化を研究する一環で石狩の食を代表する「石狩鍋」の歴史やルーツについても調査を行う。